

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	11 / 1995 / 23-31
タイトル	青森市造道のチョウ
著者名	三橋渡

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

青森市造道のチョウ

(主として1967年～1972年のデータから)

27代 三 橋 渡

私が本格的にチョウの採集を始めたのは小学5年（1967年）の頃であるが、それからの数年間は遠出の機会もまだ少なく、自宅の周辺でよく採集していた。

私の家は当時、造道沢田の海岸線から内陸方向数十mにあったので、よく行く採集場所というところ、造道（当時の地名。本報文では全て旧名を意味する。図1）の東北本線跡地（赤川ともう一つ東寄りの小川に挟まれた部分）が主であった。

当時、東北本線跡地は往時に防雪林として機能していた細長く続く2列の林とその周辺に草本や灌木が繁っており、北側に隣接した地区とともに造道の中では緑に恵まれていたため、結構いろいろなチョウが見られた。しかし現在では、この2列の林とその周辺は緑地、遊歩道として整備されてしまったため、元のブッシュ、草地、林は大半が消滅してしまったようだ。ここ数十年はここで網を振っていないのでチョウ相がどう変化したかはっきりしたことはわからないが、大激減したはずである。

東北本線跡地が緑地、遊歩道として整備されるまでは、造道は、この東北本線跡地の存在によって青森市の市街地に隣接した位置にある割にはチョウの種類と個体数に恵まれていたと思われるので、道道の当時のチョウ状況を何かに書き留めておくことはあながち無意味ではないと思う。1973年以降はこの地区のチョウ相のチェックを私自身ほとんどしていないし、他者による記録も見当たらないが、今後、現在のこの地区のファウナが調べられるのであれば、それとの比較は都市化とチョウ相の減少・変化の一つの具体的資料としての意味を持つだろうと思う。

以上のことから、私が造道でよく採集していた1967年から1972年までのデータのうち主要なものと、それ以外の年のわずかなデータの中からも活字にしておきたいものを、ノート等に記されたデータから拾いだし、今回、記しておきたいと思う。

しかし、初期の頃はあまり記録を取っていなかったので十分なだけの具体的データを示せなかった種もいくつかある。また、通常は、個々の種ごとに代表的な具体的データ（採集・目撃記録）を示したが、必要と認めた種については全データを記すことにした。

なお、地名は当時のものであり、採集・目撃者は無記名の場合は筆者自身である。

また、今回下に記したデータの標本は、一部を除いて現存している。

なお、上記したが、本報文（表題も含む。）中で用いている「造道」とは当時の地名「大字造道」を意味するものであり、1994年の地名表示変更以後のそれとは違う。

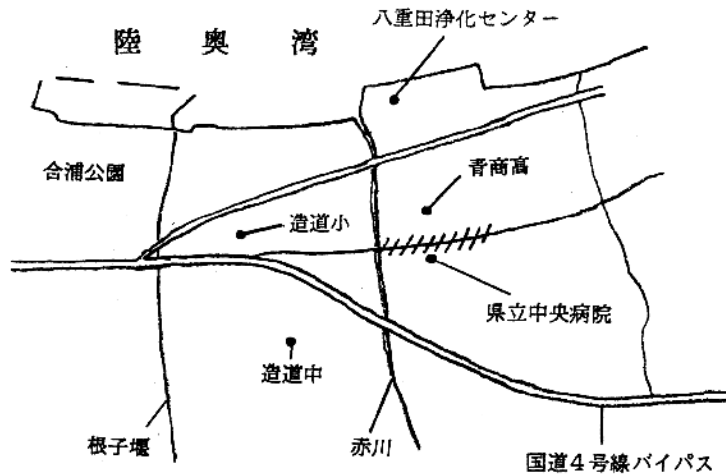


図1. 造道付近の現在の概念図

斜線部分は今回対象とした東北本線跡地

チョウデータ

1. コキマダラセセリ *Ochlodes venatus*

1♂, 造道磯野, 1971年7月5日

1♀, 造道, 1971年7月26日

東北本線跡地には多かった。現在でも岡造道（現在の地名）にある現在の実家の庭で夏の帰省時によく見かける。

2. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida*

1頭, 造道, 1971年7月26日

3. イチモンジセセリ *Parnara guttata*

1頭, 造道, 1971年8月22日

4. キアゲハ *Papilio machaon*

1頭目撃, 造道, 1969年5月12日

1頭, 造道, 1970年5月14日, 内山秀樹採集

若干目撃, 造道磯野, 1972年4月30日

5. アゲハチョウ *Papilio xuthus*

2♂♂, 造道, 1968年7月下旬

1頭目撃, 造道沢田, 1971年5月15日

筆者が小・中学位の頃は青森市市街地では多くなかったという気がするが、近年

は増えているような気がする。1994年8月上旬に岡造道にある現在の実家に里帰りした際も、庭にしばしば飛来するのを目撃したし、庭に植えてある2本のサンショウのどちらにも、卵、幼虫が付いていた。

6. ヒメシロチョウ *Leptidea amurensis*

- 1♂, 造道, 1967年7月19日
- 2♂♂, 造道磯野, 1971年5月14日
- 1♂, 造道磯野, 1971年7月13日
- 2♂♂, 造道磯野, 1976年8月28日

東北本線跡地に普通に見られた。本種は青森県の草地に普通に見られるものであったが、最近、東北一円で減少傾向にあるという。なお、造道に隣接した合浦でも採集されているので、対象範囲外ではあるが参考までにデータを記録しておく。

- 1♂, 合浦公園脇(板子堰川脇) 1966年, 佐藤一樹採集

7. モンキチョウ *Colias erate*

- 1♂1♀目撃, 合浦公園, 1970年10月10日
- 1♀(破損)目撃, 造道, 1970年11月4日

上記11月の記録は青森県では遅い記録である。現在でも普通なチョウである。

8. スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx aspasis*

- 1♂目撃, 造道沢田, 1972年4月5日
- 1♂目撃, 造道磯野, 1972年5月6日

上記4月の個体は、海岸に近い県道沿いを飛翔していた。5月の個体は東北本線跡地で採り損なったものである。造道で筆者が発見した本種はこの2例だけであるので、土着地域からの迷い込みの可能性が高いと思うが、本種と食樹を同じくするミヤマカラスシジミは後述するように本地区(造道のこと。以下同じ。)で複数得られていることから食草のクロウメドキは存在した(する)はずであり、土着していた(している)可能性はわずかながらあろう。

9. スジグロシロチョウ *Pieris melete*

- 1頭目撃, 造道磯野, 1970年4月19日
- 1♂, 造道沢田, 1970年5月3日

上記4月19日の記録は青森県としては早い記録である。

10. モンシロチョウ *Pieris rapae*

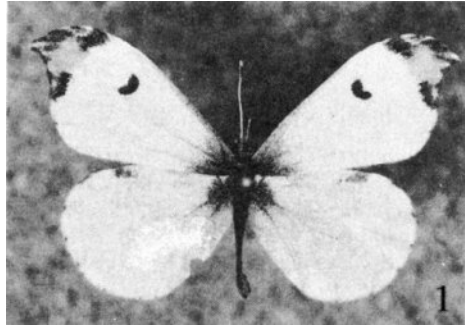
- 2目撃, 造道沢田, 1969年4月20日
- 1♂1♀, 造道沢田, 1970年4月24日
- 1(新鮮)目撃, 造道沢田, 1970年11月4日

上記の4月20日の記録は青森県ではやや早い記録である。また11月4日の記録は逆にやや遅い記録である。

11. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus*

1♂, 造道磯野, 1970年5月24日 (写真1)

本地区では筆者はこの一頭しか発見していないが、移動性は低いと思われるので、土着していた(いる)ものと思われる。詳細な採集場所は東北本線跡地のはずである。



ツマキチョウ♂

12. ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus*

1♂, 造道沢田, 1967年8月16日 (写真2-3)

3♂♂1♀, 造道沢田, 1968年7月下旬

1♂, 造道沢田, 1971年7月21日

採集地は造道小学校に近い横内さんという方の邸内である。樹木や草の多い広い庭で採集中、池のほとりで偶然採集したのが上記1967年の1♂である。筆者にとって生まれて初めて出会った生きたゼフィルスだったので、その緑の輝きに強く感激したのを覚えている。翌年には邸内の池の周辺で少なからぬ個体を発見した。ハンノキ類は確認した記憶がないが、当然邸内にありそれから発生していたのであろう。野生のハンノキがこの地に自生していて、それが庭の造成の際、伐採されずに邸内に残された可能性があるが、ハンノキが庭に移植されそれに本種が付着して持ち込まれたのかも知れない。ここ20年ほどは全くこの邸内で採集することがなかったので本種が現存しているかどうかははっきりしないが、1994年の8月に庭の外から邸内を覗いたら、かつての池は埋め立てられ木もかなり伐採されており、ハンノキ類は確認出来なかったので絶滅した可能性もありそうだ。

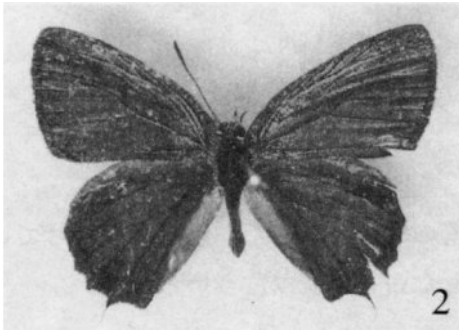
なお、本地区から比較的近い海岸部でも本種を採集しているが、正式な発表がなされていないと思われるので、本報文の対象範囲外ではあるが、ここに記録しておく。場所はミズバショウの群落で知られている原別の神社のハンノキ林で、個体数も豊富であった。ここはミズバショウの保護が一応なされているようなので、ハンノキ林も一応安泰に思われ、従って本種も現在も守られているであろう。

1♀, 原別, 1968年9月2日

4♂♂1♀, 原別, 1970年8月8日

13頭, 原別, 1971年7月25日 (うち1♂; 写真4-5)

1♂, 原別, 1972年8月5日



ミドリシジミ♂

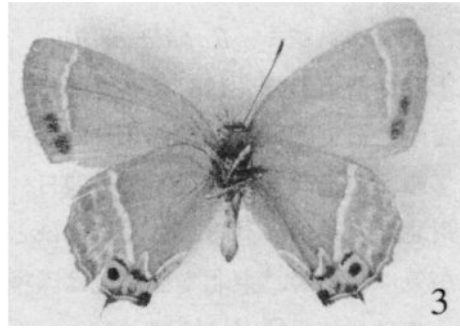
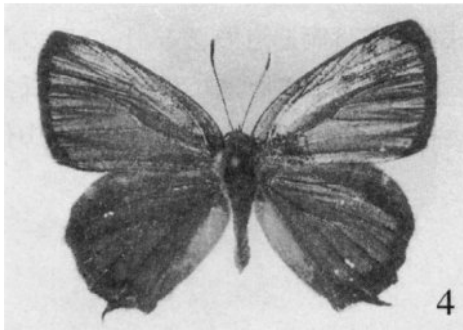


写真2個体裏面



ミドリシジミ♂

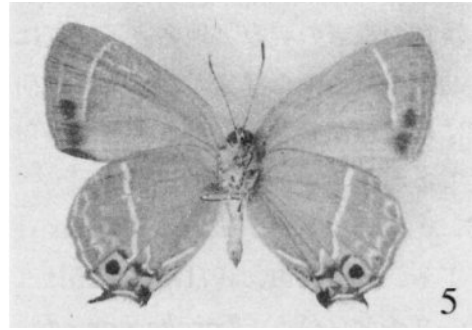


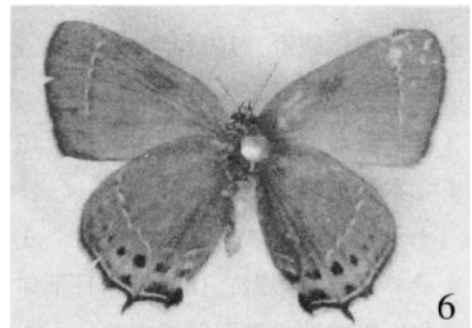
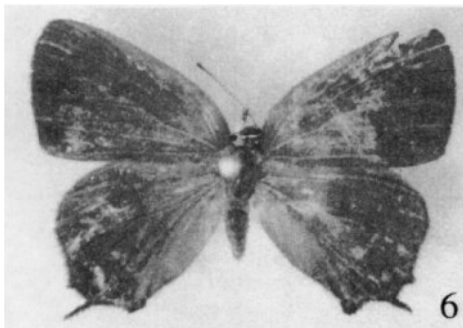
写真4個体裏面

13. ミヤマカラスシジミ *Strymonidia mera*

1頭, 造道磯野, 1967年7月28日 (写真6)

1頭, 造道磯野, 1968年8月3日 (写真6)

東北本線跡地で採集した。1967年の採集個体については、ノートに「花上にいた。」との記述がある。2年続けて採集したのでその当時は定着していたはずであるが、現在は整地等で絶滅したのではないだろうか。



ミヤマカラスシジミ (左♀、右♂)

1967年7月28日、1968年8月3日 (どちらの個体がどちらの日に採集されたかは現在不明)

14. トラフシジミ *Rapala arata*

1♀, 造道磯野, 1967年8月24日

1頭, 造道磯野, 1970年5月24日

1頭, 造道磯野, 1970年7月27日

東北本線跡地に見られた。それほど少ないものではなかった。現在どうなっているか気になるが、東北本線跡地は環境が激変したので存続は危ういと思う。

15. コツバメ *Callophrys ferrea*

1頭, 造道沢田, (1990~1993)年5月

現在の筆者の実家(地名表示変更により現在の地名は岡造道である。)の庭の花に訪花中のものを採集した。それ以前に本地区で見かけたことはなかったので採集時には意外な感を持った。生息地からの迷い込みであろう。最も近い産地は稲山付近であろう。

16. ベニシジミ *Lycaena phlaeas*

1♀, 造道沢田, 1971年5月15日

17. ゴイシシジミ *Taraka hamada*

1頭, 造道沢田, 1966~1968年

造道小学校の校庭にいるのを素手で掃えたものである。本地区ではこの1頭しか記憶にない。

18. ルリシジミ *Celastrina argiolus*

1♀, 造道磯野, 1971年5月23日

1♂, 造道磯野, 1972年4月5日

上記4月5日の記録は青森県内ではかなり早い記録である。

19. ツバメシジミ *Everes argiades*

1♀, 造道磯野, 1971年6月3日

20. ウラギンスジヒョウモン *Argyronome laodice*

2♂♂, 造道磯野, 1968年7月下旬

東北本線跡地での記録である。

21. オオウラギンスジヒョウモン *Argyronome rusalana*

4♂♂, 造道磯野, 1968年7月下旬

東北本線跡地での記録である。

22. メスグロヒョウモン *Damora sagana*

1♀目撃, 造道, 1970年9月

2♀♀目撃, 造道, 1971年7月26日

1♂, 造道磯野, 1971年8月22日

23. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia*

1♀, 造道沢田, 1970年7月27日

1♀, 造道沢田, 1970年7月29日, 内山秀樹採集

上記7月27日の記録は当時の自宅の庭で採集したものである。

24. ウラギンヒョウモン *Fabriciana adippe*

1♀, 造道磯野, 1967年7月下旬

25. イチモンジチョウ *Limenitis camilla*

1頭, 造道沢田, 1969年6月25日

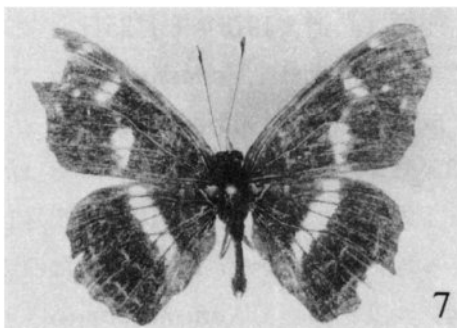
1頭, 造道, 1971年8月22日

東北本線跡地には少なくなかった。

26. コミスジ *Neptis sappho*

1頭, 造道, 1970年7月27日

本地区では普通に見られた。



サカハチチョウ♂

27. サカハチチョウ *Araschnia burejana*

2頭, 造道磯野, 1971年8月22日 (うち1♂; 写真7)

上記記録は東北本線跡地でのものであるが、本地区ではこの2頭以外は発見していない。東北本線跡地では定着していた可能性がある。

28. キタテハ *Polygonia c-aureum*

1頭目撃, 造道沢田, 1969年3月25日

1頭目撃, 造道, 1969年6月25日

1頭目撃, 造道沢田, 1970年11月21日

1頭(秋型)目撃, 造道沢田, 1971年5月23日

上記11月21日の記録は青森県の野外活動記録としてはかなり遅いものと考えられる。

29. シータテハ *Polygonia c-album*

1♂1♀, 造道沢田, 1967年10月8日

1頭(夏型), 造道, 1971年8月22日

1頭(夏型), 造道, 1971年8月25日

上記1967年の記録は当時の自宅の庭で採集したものである。他の2つの記録は東北本線跡地のはずで、複数の夏型の記録を得たことから、東北本線跡地では一応定着していたと思うが、現在ではどうであろうか。

30. クジャクチョウ *Inachis io*

1頭目撃，造道沢田，1969年3月25日

1頭，造道磯野，1970年7月27日

1頭，造道，1978年8月25日

本地区では当時少ないものではなかったが、現在ではどうであろうか。

31. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui*

1頭，造道，1978年8月25日

32. アカタテハ *Vanessa indica*

成虫，造道，1968年8月21日

33. ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas*

1頭目撃，造道沢田，1971年5月16日

本地区ではきわめて少なかったので定着していなかったかも知れない。

34. ルリタテハ *Kaniska canace*

1頭，造道小学校校舎内，1967年8月25日

1頭，造道沢田，1969年4月20日

2頭目撃，造道磯野，1968年7月下旬

上記1967年の記録は、筆者が教室内から外を覗いているとその中に飛び込んで来て、そのあと窓ガラスにぶつかりながら羽をバクバクさせているところを採り押さえたものである。当時、時々見かけていた記憶があるので生息している（いた）のであろう。

35. コムラサキ *Apatura metis*

1♂，造道沢田，1967年9月

きわめて少なく、東北本線跡地では見た記憶がない。なお隣接した合浦では合浦公園で何回か見かけた。

36. ジャノメチョウ *Minois dryas*

1頭，造道，1967年8月6日

上記のデータがメモとして残っていた。東北本線跡地で割と見たような気がするが既に記憶は曖昧になっている。

37. クロヒカゲ *Lethe diana*

1頭目撃，造道，1968年9月

上記1記録のみメモから拾うことができた。筆者の記憶は、造道沢田で草本の巨大な花の花弁に止まった本種を1頭目撃した以外、本地区では目撃すらしなかったというものであるから、上記記録はこの記憶の個体のはずである。

38. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*

道道沢田で多数採集した旨のメモ（採集年月日等の詳しいデータはない）がノートに記されてあった。記憶では本地区で普通に見られたような気がするが、既に曖昧な記憶になっている。

おわりに

以上、38種の本地区で確実なデータのある種として記録した。

しかし、東北本線跡地が整備されてしまったので、現在はこのうちの何種かは絶滅した可能性が十分ある。また、ダイミヨウセセリ *Daimio tethys* は東北本線跡地で見かけた記憶があるし、カラスアゲハ *Papilio bianor* は当時のノートに「旧線路あたりでは稀に現れる。」との記述があり造道地区で見かけた記憶が現在ぼんやりあるが、両種ともその地点が造道なのか八重田なのか現在はつきりしないので、今回は慎重を期してリストから除外した。

今後の課題としては、現在の本地区のチョウ相の調査を行い、その結果と今回示した過去のデータとの比較を行って、もし両者間に大きな差異があるのならばその原因を本地区（特に東北本線跡地）の環境変化との関係で考察してみることであろう。